

新型コロナウイルス感染症

外郭団体特別委員会審査から④

市民のいのちと暮らしを支えるため 日本共産党神戸市会議員団が奮闘

神戸市議会外郭団体に関する特別委員会の審査が2020年9月10日と30日、12月15日にひらかれ、日本共産党神戸市会議員団の味口としゆき議員、今井まさこ議員が外郭団体の運営状況などについて質問しました。

12月15日 健康局

地方独立行政法人 神戸市民病院機構

コロナ陽性患者の 受け入れ限界に!!

——— 味口としゆき議員

新型コロナウイルス感染症の急拡大で、市内の陽性患者の受け入れはひっ迫しています。医療関係者や市民からは不安の声があがっています。味口議員は、新型コロナウイルス感染症の影響で医療体制がひっ迫している状況について、市民病院機構だけが負担するのではなく、健康局が積極的に体制構築すべきと求めました。

答弁ダイジェスト

理事兼中央市民病院院長：かなりひっ迫した状況であることは間違いない。あ

一般財団法人 神戸在宅医療・介護推進財団

社会的検査で職員の 不安緩和を

——— 今井まさこ議員

一般財団法人神戸在宅医療・介護推進財団は、神戸リハビリテーション病院と介護老人保健施設の管理運営をおこなっています。今井議員は、コロナ禍で日々緊張を強いられている職員の方々が安心して介護に当たれるよう、定期的なPCR

程度経験のある看護師も必要で、病床を運営するキャパシティは中央市民病院で46床が限界だ。臨時病棟の運営で本館の看護師が手薄になっている。

味口議員：市民病院の負担は限界にきている。市民病院機構だけに負担をかけるような災害センターなどにも積極的に働きかけて、しっかり体制構築をしていただきたい。

公立大学法人 神戸市看護大学

コロナに負けず頑張る 学生へ継続的支援を

——— 味口としゆき議員

公立大学法人神戸市看護大学は、看護人材の育成や学術研究、地域貢献活動、国際交流の推進などの大学運営をおこなっています。味口議員は、一般の大学と

検査の実施を求めました。

答弁ダイジェスト

今井議員：高齢者と接している職員の方々から不安の声やPCR検査をしてほしいという声はないのか。

総務部長：どこからうつるのか分からないというおそれがあるのは現実。必要に応じて財団の負担でPCR検査をおこなっている。

今井議員：日々感染のリスクや不安と闘いながら働いていらっしゃる職員の方々のために、安心して介護ができるよ

うに定期的なPCR検査を当局に求めるべきだ。

答弁ダイジェスト

事務局長：経済的な部分で困難になり退学や休学につながったという事例は把握していない。困っている学生には個別で相談をしながら奨学金のあっせんなどの対応している。

味口議員：コロナが長期化し、アルバイトをしたくてもお店自体が少なくなっている実態がある。コロナの下、看護師や保健師の活動に光が当たり、拡充がさらに求められている。学生の皆さんが困窮するようなことがないように、継続的な援助・支援をしていただきたい。



うに定期的なPCR検査を当局に求めるべきだ。

2月議会がはじまります ぜひご視聴ください

新型コロナウイルスの屋内感染防止のため、本会議および委員会の傍聴をご希望される方は、手洗い・アルコール消毒・マスクの着用、ならびに座席の間隔を空け、身体的距離を確保してお座りいただくようご協力をお願いいたします。

本会議および委員会のインターネット中継をおこなっていますので、ぜひご利用ください

- 2月18日(木) 議案質疑
- 2月26日(金) 代表質疑
- 3月1日(月) 予算特別委員会局別審査
～10日(水)
- 3月15日(月) 予算特別委員会総括質疑

9月10日 経済観光局

公益財団法人 神戸いきいき勤労財団

「仕事は生活の糧」 実態に合わせた就業先を

—— 味口としゆき議員

公益財団法人神戸いきいき勤労財団は、幅広い年代の市民の生きがいづくりを目指し、シルバー人材センター事業や勤労会館の管理運営をおこなっています。味口議員は、コロナの影響でシルバー人材センターの仕事が減少していることを指摘し、就業者の実態に合わせてきめ細かく就業先を紹介するよう求めました。

答弁ダイジェスト

味口議員：市の担当者は「これ(仕事)は生きがいだ。生活の糧にしている人は

いない」と説明したが、シルバーの仕事生活を生活の足しにしている方もいる。

常務理事兼事務局長：多種多様な方がいる。会員のニーズに合わせてながら、できるだけ新たな就労先を紹介できるよう取り組んでいきたい。

味口議員：生活の足しにしている人がいるという認識を持って支援すべきだ。

一般財団法人 神戸みのりの公社

海づり公園は市民の宝 市の責任で修繕管理を!

—— 今井まさこ議員

一般財団法人神戸みのりの公社は、地域の農業や漁業の振興に資する事業を実施し、市民福祉の向上と市域農漁業の発展に寄与することを目的として、六甲山

牧場や海づり公園、フルーツ・フラワーパークなどの運営をおこなっています。今井議員は、2018年の台風で損傷した須磨の海づり公園の現状について追及しました。

答弁ダイジェスト

今井議員：災害復旧工事として国から予算が出たと聞いているが、なぜ直さないのか。

原農政担当局長：民間事業者の参入なども含めて、直す方向で検討している。

今井議員：須磨海づり公園は、ロケーションも素晴らしい市民の財産であり、コロナ禍でも屋外で楽しめる施設だ。安易に民間に参入させるのではなく、市の責任で市民の皆さんがこれまでのように安く利用できて楽しめる施設にすべきだ。



9月30日 企画調整局

公益財団法人 神戸医療産業都市推進機構

市民の福祉に 結びつく投資を

—— 味口としゆき議員

公益財団法人神戸医療産業都市推進機構は、神戸医療産業都市の中核的支援機関として、国際医療開発センター等の管理運営などをおこなっています。味口議員は、これまで医療産業都市構想に要した多額の投資効果が市民の実感に結びついていないのではないかと質しました。

答弁ダイジェスト

味口議員：医療の分野に神戸市が力を入れていることはわかるが、市民が気がかりなのは国保料やインフルエンザワクチンが他都市よりも高いことや、地域の病院がなくなるのではないかと不安だ。

石野企画調整局長医療産業都市部長：

医療産業都市で生まれる様々な技術がいち早く市民に届くという点を重要視し、成果を市民にも実感いただけるように工夫していきたい。

味口議員：投資よりも市民の福祉の向上に結びつけることが必要だ。

公益財団法人 阪神・淡路大震災復興基金

震災復興は終わっていない!

魅力ある地域再生のためなら
事業継続を

—— 今井まさこ議員

公益財団法人阪神・淡路大震災復興基金は、阪神・淡路大震災の被災者救済や自立支援、被災地域を魅力ある地域に再生させることを目的として設立しましたが、今年度で解散することが決まりました。今井議員は「まちのにぎわいは戻っていない。地域を再生させることが目的ならまだ途中だ」と訴え、復興事業は引

き継ぐべきと強く求めました。

答弁ダイジェスト

今井議員：震災復興が終わったという県や市の姿勢が問題だ。

谷口企画調整局長：基金の残額が僅かだ。役割は一定果たしてきたと考えている。今後は市で直接おこなっていくものも多々あるかと思う。

今井議員：被災者が受けた痛みや苦しみとともに復興事業も引き継いでいくべきだ。

授業料減免 公立大学法人 神戸市外国語大学

安心して学べるよう 国に働きかけを

—— 今井まさこ議員

公立大学法人神戸市外国語大学は、文化・教育面で地域の社会や産業の発展に貢献するとともに、世界の高等教育・学術研究の向上を目的としています。今井議員は、コロナ禍で生活が厳しい学生のために、授業料の減免などの学習支援を国に働きかけるよう求めました。

答弁ダイジェスト

今井議員：コロナで仕事が減ったり、なくなったりして生活が厳しい学生が多いと聞いている。外大でのアンケート調査はどのような結果だったのか。

事務局長：「アルバイトが減った・なくなった・怖くて行けない」という声が寄せられているが、経済的な理由での退学者は出ていないので、国や大学の支援策が一定の成果を上げていると考えている。今後も経済的な理由で勉学を断念する学生が出ないように大学としても力を入れていきたい。

今井議員：引き続き、学生にどのような支援が必要なのかを調査し、授業料半額や減免の拡充も含めて国に対して働きかけをしていただきたい。

—— その他の質問

公益財団法人 計算科学振興財団

● スパコンの施設利用費について

—— 味口としゆき議員

神戸都市振興サービス株式会社

● レンタルラボの過剰投資について

—— 味口としゆき議員